

平成 30 年度 学び舎ひまわり 第 2 講 開催報告

日 時 平成 30 年 9 月 15 日 (土) 10:15 ~ 11:40

会 場 区役所 6 階 603 号会議室

受講生 34 名 (地域 22 名、区役所 9 名、ケアプラザ 2 名、区社協 1 名)

プログラム内容

当日見学予定の笹下連合主催『ささげ祭り』は雨のため残念ながら中止となりました。そのため現地見学は出来ませんでした。会場に荻久保連合会長にお招きし、『ささげ祭り』を中心に連合の活動についてのお話をたくさんうかがいました。

【ささげ祭り】

もともと『ささげ祭り』は、9 時～夕方は運動会、その後休憩をはさんで夜まで盆踊りというイベントでしたが、長時間の活動になり負担が大きいという意見があり、午前中運動会、昼過ぎからは学生のブラスバンドの演奏披露とし、18 時ぐらいまでの開催としました。

それでも長いという意見があったため、今は 15 時までの開催としています。

これまで朝から雨が降っていることもありましたが、その時には開始時間を変更して実施してきたため、今年が初めての中止となりました。



昨年度のささげ祭りの様子

小学生リレーは競技の中で唯一町内会対抗となっていて大変盛り上がります。子どもの数が少なくなり、選手が集まらず苦勞する町会があるので、今年からは男女別や学年のしほりを緩くし、参加しやすい形をとっています。

実行委員会では、皆さんから様々な意見が出ますが、みんなで考えながら内容を検討しています。そのため、毎年内容が更新されていきます。

【こども防災キャンプ】

平成 12 年から実施しています。小学生の頃受けた防災訓練の記憶が大人になっても残っているのではないかという話から子どもを対象とした防災キャンプを開催しました。

行事は連合主催ですが、当日の手伝いは町内会で募集したボランティアの方や、中学生にお願いしています。日中ははしご車乗車体験、レンジャー体験、放水体験などを行い、



夜は町会ごとに食事、宿泊などを行っています。以前は夜も連合単位で動いていましたが、ボランティアの皆さんの高齢化に伴い負担を減らすために、また実際の災害時の動きを考えると単会での動きが望ましいということで、現在の形になっています。

こういった変更も、やはりみんなで討議を重ねた上で進めています。

【敬老研修旅行】

平成8年から敬老研修旅行を実施しています。もともとは一部の希望者が歌や踊りを披露していましたが、手伝いの人も含めてみんなが楽しめる形に変えることになり、バスで日帰り敬老研修旅行に行くことにしました。



参加者は200名を超えることがあり、広い宴会場のあるホテルを探すことが大変で、旅行会社に依頼していたホテルの予約が取れていなかった、ということもありました。色々な経験の中で、“時期にこだわらず、行ける時に行こう”ということで、今年は11月に開催します。

【質疑応答】（抜粋）

・ささげ祭りの企画運営の上での苦労話は？

→体育祭をメインにしていた時は参加人数が集まってきませんでした。また町内会対抗にするとみんなあまりにも真剣に走ってしまい怪我をするので、そのようなゲームはカットしてきました。今の形ではけが人も出ることは少ないと思います。



・お神輿については？

→お神輿はもともと神社に奉納されていましたが、宮司より使えるようにしようという提案をもらい、実行しました。元は笹下連合のものだから自分たちで直そう、ということになり、神輿と山車を修復しました。ささげ祭りは、神輿や山車を子ども達に披露する場でもあります。

・行事の形を変えていくにあたり、地域でどのように話をまとめてきましたか？

→みんなで話し合うことがとても大切。その結果、良くなることもあります。手間がかかるなどの負担がある場合は手を引く選択もあると思っています。たとえ今年通らない意見も来年につながることもあるので、無駄ではないと考えています。最終的な決断は会長が行っていますが、クレームを言う人はあまりいません。

・世代交代で苦勞していることは？

→今のところあまり感じていません。各町内会で行っているもちつきや夏祭りのお手伝いをしてくれた人に声をかけ、仲間づくりをしています。日ごろのコミュニケーションを大切にしつつ世代をまたいでつながり作りをしています。その時に「絶対来て！」などと強制すると嫌がられるので、出来る時に出来ることをしてくれればいいことにしています。



学びのまとめ 集計結果

回答数 33 件 / 回収率 97%

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
18	14	0	0	1
55%	42%	0%	0%	3%

【受講生の声】

- ・子どもが少ない所が全国的にも多い中、子どもが参加出来る事に驚きました。役員の中で若い方と高齢の方がまじっていて、どうやって人を集めたのかも知れて良かったです。
- ・雨でささげ祭りが中止になったのは残念でしたが、なぜ笹下の行事が上手く運営できているのかという事が会長さんの話で良く分かりました。
- ・笹下のイベントの取組方、多くの意見を聞いてやってみて、続けるかどうか意見を聞くという、毎年ブラッシュアップされていく様子や、役員の高齢化に伴ってやり方を変えている事のそうした柔軟さが印象的でした。敬老旅行の参加者が多く驚きました。
- ・笹下連合での取組は、印象に残る事ばかりでした。前年度の反省を今年度に活かしていくという事、単年度での役員では、難しいのではと思いましたが、長年やられる方が多いという事で納得しました。でも毎年変えていくという姿勢は、見習いたいです。
- ・従事される方の意見を良く聞き、無理のない範囲でやる事が継続していく秘訣である事を学びました。
- ・行事を進める為の人員確保に、常にコミュニケーションを取り続けていく必要がある事が良く分かりました。その時の状況にあわせて、変化をさせていく勇気を持つ事が必要ですね。

